



二月如月は逃げる月と云われる通りに、たちまち終  
てしまうという認識があります。今年は雪が多く、自  
然界の生き物と同様の生活をしていたので、ようやく寒さか  
ら少しと解放されたと感じる身体が、雪のある地面(今朝と  
雪降りの美しい朝でした。今は雪溶けの音が、快く聞か  
れます)に立ち、両手を大空にあげ、大きく息を吸い、込んで  
それを吐き出しながら、いよいよ今年が始まるぞ〜と表現し  
ています。凍っている地面のあたりは、福寿草や水仙の芽と出  
ている地面とあって、里山にと春の訪れを感じられるよう  
に、なつて参りました。

準備前焼き

長崎さん姉弟の準備前焼き  
の窯に火が入ったのは、2月3日(日)、23回目の窯焚き  
になります。10日にお手伝いに行、た時分には、火は打たに穏  
やかに囲りに、用意した薪が、おしり、20分毎に、12本の薪  
をくべる作業を8時間、夜中の静かな時間、流れ、窯の中の  
様子は、下の窓口に燃える炎の向うに、ゆらゆらゆれる作品の数々、新しい研  
窯内の温度とより、作品を紅上からたのを確認し、17日の朝  
火を落したという連絡をいただきました。2月2日(土)

窯出しです。今年の出来エリは…… 恐ろしくお  
楽しみなその日です。

研修旅行は 京都 乃がひがし

昨年の10月に予約したところ、2月5日にカウンター席のよ  
うやくとれたというお店で、長男允か、どうしても行きた  
願った食事処でした。60才と出たばかりの中東さんは、落着  
いた丁寧な扱い(素材と私たち客人)をこなして下さり、同感激  
でした。カウンター越しに見える(風景はくど)と工鍋、食  
が道入で「さて当店のメンテナンスです」と炊き立てのご飯と  
一文字の景色で、その目刺しと漬物、つくしや、ふきのとう  
などの野のものや、魚料理のいろいろ(明らかにこの辺の  
料理法とは異なっていました)。次々に出される料理の向に  
今度はエモアタ、パプリはお：げをすすめて下さる。最後は  
小さなグラスに、水出しコーヒー一杯と蘇、実に品の良い仕上げ  
が、お：げをすすめて下さる。最後は、折り返しに、乃がひがしさんにお邪魔させていた  
た、いもの息子たちは申しております。

満93才に、乃がひがしさん。今年も大好きな娘の元で誕生日  
を迎え、94の道のりを歩みはじめられています。2月号は、下手な宛  
書きで、心苦しいばかりですが、母は元気で、名古屋の姉のと  
ころで、うれしい毎日と過ごして、お：げをすすめて下さる。最後は、折り返しに、乃がひがしさんにお邪魔させていた  
た、いもの息子たちは申しております。